

トピックス

【製造業】

- ① 取引先が次々と閉社してしまう(パソコン、カメラ、部品)。新規開拓は人手も係り、売上も低く利益も少ない、支払いが大変。
- ② 業界別に見れば、特に大手が飛び抜けて利益を上げているところもあるが、全体的に見れば景気は低迷している。格差社会は個人、大手と中小、地域、業界別へどんどん広がっている。税の在り方など、政府はもっと底辺を把握して政治を行うべきと思う。
- ③ 原材料費の値上がり分を販売価格に転嫁できないため、採算が悪化している。
- ④ 下期に使用する素材の発注が増している。
- ⑤ 今期は前期に比べ安定感に欠ける。同業種の会社に暇なところが多く、全般的には動きが悪いように感じる。
- ⑥ 消費行動の二極分化が進む。

【建設業】

- ① 民間工事の発注は多少なりとも増加しているが、単価の減少は引き続き続いている。仕事はしているが、景気感改善はあまり感じられないのが現状。
- ② 景気が好転しても建設業界の下請に対する単価が厳しい、受注が減少しても単価を確保していく方向である。
- ③ 景気上昇の気配が感じられない、物価の上昇について行けない。
- ④ 公共工事減少に伴い民間工事の価格競争の激化。
- ⑤ 景気が新聞・TVで言うほどの実感がない、何かおかしいと思う。
- ⑥ 受注の減少と単価の低下、材料費の値上り、ガソリン代等経費の増大。

【卸・小売業】

- ① 大手優遇、中小企業いりませんの規制強化、個人事業はどんどんなくなります。
- ② 公共事業の激減。
- ③ 新商品の開発が4年とかかりすぎた、来期は新商品の販売によって上昇予定。
- ④ 顧客の高齢化、冠婚葬祭の洋服化。
- ⑤ ペットボトルの進出で、葉のお茶が減少。
- ⑥ 近くに大型店が7店あり、代わる代わる売出しをしているので、お客様が自店によりつくひまがない。

【卸・小売業】

- ⑦ 天候に恵まれ、お客様の来店者数も好調であった。従来より単価の高い物品の動きが良かった、今後は仕入単価の上昇がほぼ確定的なため不安が残る。
- ⑧ 少し個人消費が改善しているような気がする。
- ⑨ 個人消費の低迷。
- ⑩ 周りに大型店の出来過ぎや住民税の変化、又消費税の値上げ問題など税金漬けのような世の中、自然環境も壊れつつある。こうなると規制緩和も良いのか悪いのか、ただの競争だけで強い者だけが勝つというような世の中になったような気がする。
- ⑪ 特に良い商品なら売れる。
- ⑫ 他の産業からの参入、安値販売店の増加。
- ⑬ 6月度の夏期商戦に入り好況となって来ている、7~9月期は持続できる見込み。
- ⑭ 何でも安いものから、一格上の商品購入に変わってきた。(客単価の向上)
- ⑮ 原価(ガソリンを含む)の値上げ。
- ⑯ 調理する食品は売れなくなった。
- ⑰ 個人のお店はやって行けない時代。
- ⑱ 売上単価の減少、売上横ばい、収益減少。
- ⑲ 食の安全性という事が問題になっているが、特にマスコミや新聞での報道のあり方が問題ではないか。消費者の購買意欲を失う事が多すぎる世の中になってしまっているような気がする。

【飲食・サービス業】

- ① まるで実感のない景気の改善、及び宴会需要の減少。
- ② 景気回復は大手のみ、昨年の上半期より減少。
- ③ 土地価格の上昇から一戸建ての小型化の影響を受けているが、法改正に伴い設計料、管理費用の値上げ実施予定のため、下期は利益率の上昇を予想しています。
- ④ 人件費の高騰と人手不足。
- ⑤ 世間で言われている程の、景気改善は実感できない。